

水処理事業の子会社 2社を合併 浅野アタカ株式会社（仮称）を設立

日立造船株式会社は、100%子会社である浅野環境ソリューション株式会社（東京都台東区、伊藤 淳一社長、以下「浅野」）と、同じく100%子会社であるアタカメンテナンス株式会社（東京都台東区、小川 暢也社長、以下「アタカ」）の2社を2019年4月1日付で合併することを決定しました。合併後の新社名は「浅野アタカ株式会社（仮称）」で、浅野が存続会社となります。

小規模の各種水処理施設の分野において、浅野はEPC（調達・設計・建設）とAOM（アフターサービス・運転・メンテナンス）を、アタカはO&M（運転・メンテナンス）を事業領域としてきました。両社が培ってきたリソースやノウハウを融合したシナジー効果により、EPCからAOMまで一貫して請け負える小規模の水処理施設の総合メーカーとしての地位の確立を目指します。

■ 合併後の会社の概要

1. 会社名 : 浅野アタカ株式会社（仮称）
2. 所在地 : 未定（東京都内を予定）
3. 資本金 : 1億円
4. 従業員数 : 約570名
5. 事業内容 : 各種水処理施設（し尿・汚泥再生処理施設、上下水処理施設、一般廃棄物最終処分場など）のEPC、AOM
6. 合併年月日 : 2019年4月1日

* 会社名、所在地、代表者は調整中につき決まり次第、別途お知らせします。

当社グループは、「エネルギー」と「水」の環境分野をコア事業領域としており、循環型社会実現に向けたソリューションプロバイダーを目指しています。

（終）